

出前講義 2020 テーマ等一覧

学科	No.	講義テーマ	教員氏名
看護	1	超高齢社会に求められる看護職の役割	生野繁子 教授
	2	やってみよう！バイタルサインのチェック	柴田恵子 教授
	3	看護職の仕事	福島和代 教授
	4	健康な人の看護について	福本久美子 教授
	5	チーム医療の重要性を知ろう！～看護師と薬の関わりについて～	徳富芳子 教授
	6	①今、求められている看護師の仕事とは ②認知症について	山本恵子 教授
	7	①「自分の考え方」の考え方 ②「こころのトリセツ」作成してみませんか	上田智之 准教授
	8	子どもの成長と発達 ～子ども大人の縮小版ではありません～	二宮球美 准教授
	9	てあてを体感してみよう and 大学ミニ講座	大橋知子 専任講師
	10	看護師に求められるフィジカルアセスメント	上妻尚子 専任講師
	11	どうしたらいいの？検査を嫌がる子ども	松岡聖美 専任講師
	12	こころの働きと精神機能～こころの健康について考える～	緒方浩志 助教
	13	治療の意思決定	北原崇靖 助教
	14	防煙授業 たばこについて考えよう	齊藤圭子 助教
	15	看護を体験してみましよう～生活する場における血圧測定編～	巖桂子助教/田中康子助教
	16	①いのちの学習 ②生と性の学習	森口範子 助教
社会福祉	17	生きることを“ケア”をする福祉	吉岡久美 准教授
	18	子どもの権利と社会的養護の関係	橋本眞奈美 准教授
	19	介護の仕事を知ろう	馬場敏彰 専任講師
	20	①社会福祉士・精神保健福祉士の仕事と魅力 ②障害のある人への差別の心は問題か？～障害者権利条約、障害者差別解消法をふまえて～	平川泰士 専任講師
	21	障害の正しい理解～発達障害を通して～	水間宗幸 専任講師
リハビリテーション	22	呼吸器リハビリテーションの実際と科学 ～呼吸循環機能向上のススメ～	大池貴行 教授
	23	のぞいてみよう！リハビリテーションの世界	川俣幹雄 教授
	24	体の骨とその役割について	岡田裕隆 准教授
	25	高齢者の生活を支えるための理学療法士の視点	中野聡太 准教授
	26	スポーツと理学療法	二宮省悟 准教授
	27	理学療法の効果を科学する	角園恵 専任講師
	28	脳の病気と理学療法士のかかわり	山本良平 専任講師
	29	リハビリテーション分野で活躍する理学療法士	吉田勇一 専任講師
鍼灸スポーツ	30	心と体のコンディショニングに有用な伝統医学（東洋医学）の知恵	篠原昭二 教授
	31	高校生のためのツボ入門～スポーツ・健康・美容について～	本田泰弘 教授
	32	鍼灸師というとても不思議で役に立つ仕事	田口太郎 准教授
	33	「どこでもお灸」のはなし	塚本紀之 准教授
	34	スポーツ特性と傷害予防	平崎和雄 准教授
	35	スポーツにおけるケガの予防、治療について	浅井福太郎 専任講師
	36	東洋の学問の特徴とその有用性について	内田匠治 専任講師
	37	アスリートのコンディショニングづくり	井手裕子 助教
	38	身体と運動・スポーツ	手嶋智子 助教
口腔保健	39	“健康”？“病気”？、これまでとこれから -口腔保健というかわりかた-	徳永 淳也 教授
	40	生きる力を育む口腔のケア	石井里加子 准教授
	41	歯周疾患の全身への影響を理解し、予防しましょう	金子憲章 教授
	42	養護教諭という仕事と口腔保健	古賀由紀子 准教授
	43	口腔から健康格差を考える ～国際協力の現場から～	淀川尚子 准教授
	44	戦略的歯みがき指導 理論と実践	松尾文 准教授
基礎※	45	日本文化と中国文化の共通性と異質性	高 継芬 専任講師

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No.1 | 超高齢社会に求められる看護職の役割

教授：生野繁子/老年看護学、家族看護学

超高齢者では病院はもちろん、施設・地域・在宅において、看護職に求められる役割が増大し、働く場も多様化しています。また、看護職は健康の側面から人々の幸福に寄与でき、しかも、一生涯働くことが可能な素晴らしい職業であることについて講義します。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No.2 | やってみよう！バイタルサインのチェック

教授：柴田恵子/基礎看護学、生命倫理

看護師は「感覚器を備えた観察者である」という観点からバイタルサイン（生命兆候）の概要を知り、バイタルサインの観察の必要性和具体的な観察方法を実際に経験しながら学習します。生徒が生活でバイタルサインのチェックを取り入れ、自身の身体の状態、健康の維持について興味を持つようになれる内容です。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No.3 | 看護職の仕事

教授：福島和代/成人看護学

高校1～2年生を対象に、看護職の仕事の内容や役割、やりがいについて講義します。特にこの超高齢社会を支えるのは看護職であることを理解していただきたいと思ひます、また専門学校や短期大学を卒業して3年で看護師になるコースと、4年制看護大学を卒業して看護師になるコースとの違い（看護大学で看護教育を受ける意義）について話します。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No.4 | 健康な人の看護について

教授：福本久美子/公衆衛生看護学、地域看護学

健康な人の看護を担う専門職として「保健師」という国家資格があります。保健師は行政や事業所、健康機関等で働いています。その仕事は予防の看護です。講義目的は、予防の看護の魅力を理解し、保健師という職業への関心を持っていただくことです。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No.5 | チーム医療の重要性を知ろう！～看護師と薬の関わりについて

教授：徳富芳子/薬理学

チーム医療で重要な役割を果たす看護師は、患者さまと直に接する機会が最も多い医療職です。例えば、治療薬投与後の患者さまの回復程度をまじかに観察したり、患者さまとの対話から薬の飲みにくさなど人それぞれ違った状況に関する情報を収集することで、適切な治療に大いに貢献できる職種です。講義では、薬との関わり観からお話します。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No.6-① | 今、求められている看護師の仕事とは

教授：山本恵子/老年看護学、リハビリテーション看護

少子高齢多死社会で求められる看護師の仕事について分かりやすく説明します。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No.6-② | 認知症について

教授：山本恵子/老年看護学、リハビリテーション看護

認知症について知り・対応をみんなで考える内容です。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No.7-① | 「自分の考え方」の考え方

准教授：上田智之/精神看護学

考え方によっては、こころを苦しくすることがあります。ストレスを楽にするために、「自分の考え方」を知り、気持ちの整理をしてみませんか。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No.7-② | 「こころのトリセツ」作成してみませんか

准教授：上田智之/精神看護学

こころの不調は事前に対処することによってメンタルヘルス低下の予防につながります。時には、自分をみつめ「こころのトリセツ」を作成してみませんか。

No. 8 | 子どもの成長と発達 ～子どもは大人の縮小版ではありません～

准教授：二宮球美 / 小児看護学、家族看護学

小児看護学の対象となる胎児から思春期に至るまでの成長発達のプロセスを知り、その際にどのような環境提供が必要で、その時期において病気や障がいを持つことの意味と、家族への影響、それらを通して看護の役割を教授します（未熟児、新生児期のベビーモデルを用いた体験学習を行います）。

No. 9 | てあてを体感してみよう and 大学ミニ講座

専任講師：大橋知子 / 母性看護学

看護の「看」の漢字の中に入っている「手」を使って、てあての効果を実験してみませんか？
看護を専門的に学ぶ体験として、大学で行っている講義の一部を実験していただきたいと思っています。今年度はお母さんの化粧品にも入っている
ブラセンターエキス「胎盤」についてです。

No. 10 | 看護師に求められるフィジカルアセスメント

専任講師：上妻尚子 / 基礎看護学

「看」という字は「手」と「目」から作られています。患者さんを目で見手で触り、さらに聴診器を使って体が発する音を聞いて、体の中で起こっていることを判断する能力をフィジカルアセスメントといい、看護師に求められる能力の一つです。本講義では、看護学生が学ぶフィジカルアセスメントについてわかりやすくお話しします。

No. 11 | どうしたらいいの？ 検査を嫌がる子ども

専任講師：松岡聖美 / 小児看護学

検査を嫌がっている8歳児の事例を通して、どんな援助ができるか一緒に考えます
①事例の提示、子どもの権利についてミニ講義、②グループワーク、③プレパレーション・ディストラクションの紹介
④グループワーク、⑤発表・まとめ（小児専門看護師の紹介）

No. 12 | こころの働きと精神機能～こころの健康について考える～

助教：緒方浩志 / 精神看護学

みなさんは、こころの働きや精神機能について考えたことはありますか。こころも身体とともに成長・発達します。特に思春期は、他者との関係や将来のことなどたくさんのお悩みを抱えたり、傷付きやすかったり、アイデンティティを確立する時期です。こころ(mind)について一緒に考え、こころの健康について学べる講義です。

No. 13 | 治療の意思決定

助教：北原崇靖 / 老年看護学

高齢者自身が望む最期を迎えるためには、延命治療に関する意思表示の有無が重要です。高齢者本人の望む最期を迎えることができるようにするために、普段から家族や近い高齢者などに最後について話し合う必要があります。
どのような内容の話をするればお互いに困らないのかを考える機会になればと思います。

No. 14 | 防煙授業 たばこについて考えよう

助教：齊藤圭子 / 成人看護学

私の所属する一般社団法人くまもと禁煙推進フォーラムは、科学的なデータに基づいたタバコ情報の提供、未成年者の喫煙防止等を目的とした社会的な活動を行っています。多くの方に授業を受けてもらい、正しい知識を得てもらうことが、社会における未成年の喫煙防止に大変役立ちます。

No. 15 | 看護を体験してみよう～生活する場における血圧測定編～

助教：巖桂子 助教：田中康子 / 在宅看護学

今日、地域全体で地域住民の生活を支え合いながら人生最期までを迎えることのできる地域づくりを求められています。地域には生活を支える在宅看護という専門領域があり、地域の方々や様々な専門職の方々とお出会うことのできる看護の領域です。
皆さん、在宅看護（生活の場）を想定した「血圧測定」を経験してみませんか。

No. 16-① | いのちの学習

助教：森口範子 / 母性看護学

いのちはどうして大切なんだろう？と疑問に思ったことはありませんか。いのちの始まりから、母親の胎内でどのように成長して、生まれてきたのかを説明します。いのちがかけがえのないものであることを、学びを通して考えてみませんか。

No. 16-② | 生と性の学習

助教：森口範子 / 母性看護学

対象年齢は問いません。これまで、生と性に関する学習内容として、生命の誕生や思春期のからだどころについて伝えてきました。現場で必要としている内容を相談しながらお伝えできればと考えています。
生と性の学習を通して、かけがえのないいのちを大切に生きることを考えるきっかけづくりに。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No. 1 7 | 生きることを“ケア”をする福祉

准教授：吉岡久美／看護学、生活支援

“ケア”がつく言葉には、ヘルスケア、医療ケアといった専門的なものから、ヘアケアやスキンケアといった日常的なものがあります。このように、“ケア”とは「世話」「手当て」「支援」という広い意味合いがあります。生命の誕生から死を迎えるまで何かしらのケアとかわりあいながら生活をしています。そこで、この講座では生活に密着したケアとしての介護や福祉専門職について、医療的な視点から学んでいきます。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No. 1 8 | 子どもの権利と社会的養護の関係

准教授：橋本真奈美／児童福祉、家庭福祉、障害学

子どもは、護られる存在である受動的権利と、子どもであっても一人の人間として主体的側面に重きを置く能動的権利の二つの権利を持った存在です。しかし、子どもに関する問題の中には「虐待」といった権利が阻害されている状況が存在します。権利が護られていない子どもに対する社会的養護の必要性について皆さんと考えていきます。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No. 1 9 | 介護の仕事を知ろう

専任講師：馬場敏彰／介護福祉、生活支援

「介護って何？」「どんな仕事？」素朴な疑問にお答えします。今の社会に最も必要な「介護」、少しだけ一緒に考えてみませんか？決して、他人ごとではない時代が来ています。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No. 2 0-① | 精神保健福祉士・社会福祉士の仕事と魅力

専任講師：平川泰士／
障害者福祉、ソーシャルワーカー養成教育

両資格は近年活動領域が広がっており、イメージされがちな福祉施設以外にも多岐に亘っています。専門職としての理念、視点を通して、基本的な業務と活動の場、ソーシャルワーカーの魅力を理解します。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No. 2 0-② | 障害のある人への差別の心は問題か？～障害者権利条約、障害者差別解消法をふまえて～

専任講師：平川泰士／
障害者福祉、ソーシャルワーカー養成教育

「介護って何？」「どんな仕事？」素朴な疑問にお答えします。今の社会に最も必要な「介護」、少しだけ一緒に考えてみませんか？決して、他人ごとではない時代が来ています。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No. 2 1 | 障害の正しい理解～発達障害を通して～

専任講師：水間宗幸／発達臨床心理学

さまざまな「障害」を持つ人たちは、私たちの身の回りにたくさんいます。彼らの力になりたいと考える場合、第一歩は正しい理解です。障害とはいったい何か？特に通級学級の中に 6.5%は在籍していると考えられる最も身近な発達障害を含め、障害の正しい理解とその接し方について、みんなで考えていきたいと思います。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No. 2 2 | 呼吸リハビリテーションの実際と科学 ～呼吸循環機能向上のススメ～

教授：大池貴行／内部障害理学療法学

呼吸リハビリテーションは、呼吸障害をもつ方に対して、日常生活において「楽に息ができる」よう運動療法や呼吸コントロールなどの治療を行っています。本講座は、その実際を紹介するとともに、呼吸調整や息切れメカニズムの科学を通して、スポーツ領域、特に部活動のトレーニング方法を考える機会を提供します。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No. 2 3 | のぞいてみよう！リハビリテーションの世界

教授：川俣幹雄／呼吸・循環器疾患のリハビリテーション

リハビリテーションの一翼を担う理学療法は、急性期から在宅医療、健康増進や予防医学、さらには災害時のチーム医療にまでその活躍の場を広げています。こうした理学療法士の仕事とその魅力について、スライドや動画を用いて分かりやすく、お伝えします。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No. 2 4 | 体の骨とその役割について

准教授：岡田裕隆／手足(運動器)の解剖学

骨は毎日一緒である体の一部なのに名前がわからない。また体の中でどのように動いているかもよくわからない。しかし、その気になれば理解することは大変なことではありません。私達の骨は生活に非常に都合よく作られており感心させられます。講義では大学生が解剖学で習う手足の代表的な骨の名称と機能について学習します。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No. 2 5 | 高齢者の生活を支えるための理学療法士の視点

准教授：中野聡太／高齢者の理学療法

2025年に団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、65歳以上の高齢者人口は約3500万人に達すると推計されています。未曾有の高齢化が待ち受ける中、地域における高齢者の暮らしを支えるために理学療法士の活躍が期待されています。そこで、理学療法士が地域で高齢者を支えていくための知識や技術について紹介します。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No. 2 6 | スポーツと理学療法

准教授：二宮省悟／スポーツ理学療法学

現代スポーツ(サッカー、野球、その他)を例に挙げ、怪我をした方への治療に関して、メディカルスタッフの中で理学療法士がどのように関わっているかを、実際の動画や写真を用い、分かりやすく述べます。さらに、様々な病気に対して、リハビリテーション分野の側面から理学療法士が担う役割についても説明します。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No. 2 7 | 理学療法の効果を科学する

専任講師：角園恵／整形外科、基礎理学療法

理学療法士の役割は、障害によって失われた機能の回復促進をすることである。通常の機能が失われるとはどのようなことなのか、機能が回復する過程でどのような変化がおきるのかを科学的側面から検証すると何が見えてくるのかを考える。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No. 2 8 | 脳の病気と理学療法士のかかわり

専任講師：山本良平／理学療法学、中枢神経疾患

脳の病気を患うと手足が思うように動かさなくなり、歩くこともままならなくなります。講義では脳のはたらきや病気についてわかりやすく説明し、そのような病気の患者様と理学療法士のかかわりについてお話します。また、学生生活や理学療法士になるまでの過程についても紹介します。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No. 2 9 | リハビリテーション分野で活躍する理学療法士

専任講師：吉田勇一／理学療法、小児疾患

リハビリテーションチーム、主に理学療法士、作業療法士、言語聴覚士について概説します。理学療法士が専門としている姿勢や動作に関する理解を深めるために、病気や怪我により不自由になった日常生活について実演を交え解説します。大学での学修と学生生活から理学療法士国家試験合格まで「道のり」について紹介します。

鍼灸スポーツ学科

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No. 3 0 | 心と体のコンディショニングに有用な伝統医学(東洋医学)の知恵

教授：篠原昭二／鍼灸医学

大きなストレスを受けると胃の具合が悪くなり、それが引き金となって口内炎、顎関節症、膝関節前面の痛みや水腫、胸やけが起こりやすいが、東洋医学では当然の結果であっても、現代医学では必ずしも相互の関連性は明確ではありません。2千年来経験的に伝承されてきた東洋医学の知恵と最近のエビデンスを紹介します。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No. 3 1 | 高校生のためのツボ入門～スポーツ・健康・美容について～

教授：本田泰弘／
鍼灸医学(スポーツ鍼灸、美容鍼灸)

スポーツ活動を行う上で、ツボの知識は役立ちます。経穴(ツボ)に軽く触れるのみで、体の各関節の動きが柔軟になり競技能力が向上します。またケガをしにくくなり、痛みも和らいでくることが知られています。講義では日頃から気になる症状を改善するツボや、日常の健康と美容に役立つ経穴(ツボ)の知識も紹介します。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No. 3 2 | 鍼灸師というとても不思議で役に立つ仕事

准教授：田口太郎／鍼の国際標準化・災害鍼灸

鍼灸師という仕事、日本ではほとんど認知されていません。実は欧米各国をはじめ、アフリカや南米に至るまで、国境を越え世界中で重宝されている職業なのです。はりとおきゅうでいったい何ができるのか、不思議な理由、これからの日本にとっても貢献できる理由をわかりやすく学びます。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No.33 | 「どこでもお灸」のはなし

准教授：塚本紀之/鍼灸医学

お灸と聞くと、熱い、おじいちゃん、おばあちゃん・・・などという印象があると思いますが、最近、開発した「火を使わずに温まるお灸」を使って、スポーツのコンディショニングに使ってみませんか？

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No.34 | スポーツ特性と傷害予防

准教授：平崎和雄/スポーツ医科学

スポーツは老若男女問わず親しまれている。スポーツをする目的は競技、教育効果、健康維持増進、疾病予防、介護予防など様々である。それぞれの目的でスポーツを楽しむ裏には、スポーツ傷害がある。スポーツ種目、目的などの違いによる怪我や病気を防ぐにはどうしたら良いか？を紹介しします。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No.35 | スポーツにおけるケガの予防、治療について

専任講師：浅井福太郎/はり・運動

スポーツにおける競技能力をあげるために必要なトレーニングを紹介するとともに、現在の身体の調子や疲労について把握することができます。また、ケガを予防するためにツボ押しやストレッチの実技によりパフォーマンス向上する方法を学習してもらいます。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No.36 | 東洋の学問の特徴とその有用性について

専任講師：内田匠治/鍼灸医学、東洋医学

中国を中心とした東洋における学問は実学を重視し、西洋の学問とは異なる発展をしてきました。その最大の特徴を一言でいえば、「気」という概念を導入している点になります。現代科学では未解明な部分も多い、「気」の学問の特徴と現代社会における有用性について紹介しします。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No.37 | アスリートのコンディショニング

助教：井手裕子/アスレティックトレーニング

競技スポーツの競技力向上を図るために、スポーツ医科学のエビデンスをもとにした手法で、スポーツドクター、監督、コーチまたは栄養士などの専門家とチームとなり、アスリートのコンディショニングを整え、フィジカル面及びメンタル面からのサポートを行うための学習を行います。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No.38 | 身体と運動・スポーツ

助教：手嶋智子/スポーツ医科学・運動生理学

運動・スポーツは多くの人が行っていますが、ときにケガをしてしまう人もいます。スポーツをしている時の身体の中では、どのようなことが起こっているのか？また、ケガの予防・競技力向上の為にどのようなことを行うのか？を紹介しします。

口腔保健学科

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No.39 | “健康”？、“病気”？、これまでとこれから -口腔保健というかわりかた-

教授：徳永淳也/医療管理学

「あなたは健康ですか？」生きていく限り誰もが聞かれ続けるこの質問。毎日、毎日、商品化された「健康」が私達の前に並べられ、選択を迫ってきます。「健康」を消費し続ける人々の姿に、「健康」や「病気」のよりよいのとりえ方があるのではないかと感じる人も多いのではないのでしょうか。このとりえ方の変革に、口腔保健という立場からどのように関わる事ができるのか、ヒントを提案します。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No.40 | 生きる力を育む口腔のケア

教授：石井里加子/障害者歯科、口腔保健、歯周病管理

歯や口の健康は、人の生命・生活・人生(QOL)に深く影響していきます。また、口の中を観察すると、その人の体調や生活が見えてきます。自身の歯と口の状態を知り、適切なケア方法を身に付けることは“生きる力”の源となります。本講義では歯科臨床でのエピソードを交え、歯と口の健康の大切さをお話しします。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No.41 | 歯周疾患の全身への影響を理解し、予防しましょう

教授：金子憲章/歯周病

年をとっても自分の歯で食事することは、生きていく重要な楽しみです。歯周疾患は若いうちから、予防することが重要です。歯周疾患の全身への影響を知ることで怖さを知り、予防を一緒に考えましょう。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No. 4 2 | 養護教諭という仕事と口腔保健

准教授：古賀由紀子/学校保健

養護教諭は、小・中・高・特別支援学校に配置され、通常保健室を中心に仕事をしています。これまでに皆さんは、応急処置、健康診断、健康相談など、何らかの形で養護教諭と関わりを持ったことがあると思われませんが、子ども側からの立場ではわからない支援者としての養護教諭の職務の概要を紹介します。また、口腔保健を学ぶことで養護教諭にどんな力が身につくか、についても考えます。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No. 4 3 | 口腔から健康格差を考える～国際協力の現場から～

准教授：淀川尚子/口腔保健、地域保健

世界には、難民、都市部スラムや農村部の貧困層とさまざまな社会的弱者が暮らしています。同じ人間でありながら、私たちと違った困難を強いられており、健康格差の是正は重要課題のひとつです。これまでに世界ではさまざまな支援が展開されましたが、格差はますます拡大しています。口腔から健康格差の問題について考えてみましょう。

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No. 4 4 | 戦略的歯みがき指導 理論と実践

准教授：松尾文/口腔衛生

「歯科保健指導」は歯科衛生士の3大業務の一つです。歯科保健指導では、歯みがき指導や食生活指導、健康教育、動機づけなどが行われますが、人の行動を変えるのは簡単なことではありません。本講義では行動変容の理論を紹介しながら、歯科衛生士がどう戦略的に歯みがき指導を実践するのか、一緒に考えていきます。

基礎・教養教育研究センター

講義ナンバー/講義テーマ/教員氏名/専門分野

No. 4 5 | 日本文化と中国文化の共通性と異質性

専任講師：高継芳/文学、比較文化

近年、異文化理解をはじめとする国際理解教育の重要性が認識されてきています。本学の基本理念の一つとして、「近隣諸国と学ぶ大学」を掲げています。目的はアジア各国における文化の共通性と異質性を明らかにすることによって、異文化への理解を深めていくことです。今回は、日本に長期滞在している中国人の視点から、日本と中国の文化の違いについて紹介します。